社会福祉法人かがやけ福祉会

２０２４年度事業報告

（令和６年度）

かがやけ福祉会　法人本部　２頁

かがやけ共同作業所　11 頁

かがやけ第２共同作業所　14 頁

グループホーム　18 頁

相談支援センターかがやけ　21 頁

令和７年５月３０日
か が や け 福 祉 会

かがやけ

２０２４年度　法人本部事業報告

Ⅰ　理事会の開催

年４回開催した。

第１回理事会（通算１３８回）　２０２４年５月３１日

第１号議案　２０２３年度　第二次補正予算
第２号議案　２０２３年度　事業報告
第３号議案　２０２３年度　決算報告
第４号議案　監事監査報告
第５号議案　給与・退職金規程の改正
第６号議案　期間契約職員就業規則の改正
第７号議案　職員再雇用規程の改正
第８号議案　２０２４年度　第１回評議員会の開催

第２回理事会（通算１３９回）　２０２４年９月２７日

第１号議案　設備整備等積立金の取崩
第２号議案　２０２４年度　第一次補正予算

第３回理事会（通算１４０回）　２０２４年１２月２０日

第１号議案　設備整備等積立金の取崩
第２号議案　２０２４年度　第二次補正予算
第３号議案　２０２４年度　第２回評議員会の開催

第４回理事会（通算１４１回）　２０２５年３月２６日

第１号議案　２０２４年度福祉・介護職員等処遇改善加算による賃金改善
第２号議案　２０２４年度　第三次補正予算
第３号議案　２０２５年度　事業計画
第４号議案　２０２５年度　職員体制及び団体への派遣
第５号議案　２０２５年度福祉・介護職員等処遇改善加算による賃金改善
第６号議案　給与・退職金規程の改正
第７号議案　職員再雇用規程の改正
第８号議案　期間契約職員就業規則の改正
第９号議案　育児休業等に関する規則の改正
第 10 号議案　介護休業等に関する規則の改正

第 11 号議案　２０２５年度　当初予算
第 12 号議案　役員等賠償責任保険の契約
第 13 号議案　次期評議員候補者推薦

Ⅱ　評議員会の開催

年２回開催した。

第１回評議員会（通算８４回）　２０２４年６月２４日
第１号議案　２０２３年度　事業報告の承認の件
第２号議案　２０２３年度　決算報告の承認の件

第２回評議員会（通算８５回）　２０２５年１月１７日
報告事項
(1) 理事長の職務執行状況報告
(2) 業務執行理事（常務理事）の職務執行状況報告

Ⅲ　運営協議会の開催

年２回開催した。

第１回運営協議会　２０２４年７月５日
・２０２３年度事業報告・決算について
・２０２４年度事業計画・予算について
・各委員からの報告

第２回運営協議会　２０２５年１月１９日
・理事長職務執行報告
・常務理事職務執行報告
・各委員からの報告

Ⅳ　借入金の償還

かがやけ福祉会後援会からの寄付金により、２０１６年度に完済したかがやけ共同作業所の建設時借入金返済（５，０００万円）につづき、かがやけ第２共同作業所の建設時借入金返済（５，２５０万円）も２０２４年度をもって完済することができた。

Ⅴ　事業の展開

１　第二種社会福祉事業障害福祉サービス事業の経営

・　生活介護　　かがやけ共同作業所
・　就労継続支援Ｂ型　　かがやけ第２共同作業所
・　相談支援事業　　相談支援センターかがやけ
・　共同生活援助（介護サービス包括型事業所）　かがやけ寮
　　（ユニット：ブリエ（旧かがやけ寮）、リベルテ、ラヴァンス）
・　共同生活援助（介護サービス包括型事業所）　エタンセール
　　（ユニット：エタンセール、アルクアンシェル、フュチュール）、

２　公益事業

・　葛飾区より在宅心身障害者緊急一時保護事業の受託

Ⅵ　今年度の事業報告

１．経営・組織強化のために

⑴ 理念の実現

２０２４年度は、理念についての全体討議ができずに終わった。原因として理念プロジェクトチームの会議開催を法人として、様々な課題がある中で計画的に考えてこれなかったことがあげられる。今後は、年度当初から方針をたて、計画的にプロジェクトチーム会議を開催し、全職員が理念に基づき、実践ができるように取り組んでいけるようにしていく。

⑵ 経営組織の確立と強化

法人事務局会、施設長会議、管理職会議を定例開催し、法人の課題や事業所の課題について論議し、法人運営の進捗状況の把握、進行、充実に努めてきた。

管理職会議は、月１回定期的に開催、施設長、副施設長が出席し、法人全体の課題の共有と管理や実践の交流を図ってきた。また次期世代の管理者として、求められる管理業務能力や実践推進の力量をつけるため、テーマを決め、研修や会議での学習会を位置づけてきた。研修として「管理職のメンタルヘルスケア」の動画を視聴、レポート提出し、事業所の職員の日々の健康管理について学んだ。今後も次代を担う管理職育成をしていくために、外部研修派遣や研修を計画的に実施していく。

経営組織、本部機能の強化のために事務員増をめざし募集し、年度末に雇用の目処が付き、来年度４月から１名雇用することができることとなった。

かがやけ第２共同作業所において、サービス管理責任者の資格を執行していたことに気づかずに運営を三か月してしまっていた事に対し、給付費の減算が生じた。このことについて、「サービス管理責任者資格執行・不在運営に関する減算対応委員会」を開催し、その原因と改善方法を明らかにしてきた。二度とこのようなことがおこらないよう、法人組織として、事業所の管理運営の強化を図ることとした。

※２０２４年7月１０日
・サービス管理責任者失効・不在運営に関する減算対応委員会
・懲戒処分委員会の開催

また、グループホーム（かがやけ寮）のサービス管理責任者が年度内で退職したが、サービス管理責任者の有資格者がすでに在職していた為、スムーズにサービス管理責任者の変更を行う事ができた。今後とも有資格の複数配置に努めていきたい。

(3) ５か年計画の推進（２０２２年～２０２７年）

５か年経計画の折り返しの年であったが、日常的な課題に追われ、討議の時間を設けることができなかった。今後、５か年計画の進捗状況や、法人の状況、社会状況をみながら、計画の推進を図っていく。

(4) 財政計画

５か年計画、財政計画について、各事業所の大規模修繕、新規施設整備について、数字を明らかにしてきたが、今後の実施についての評価検討、分析を行う時間を設ける事ができず、法人として論議が充分でなかった。

２０２４年度において、介護報酬の改定があり、かがやけ共同作業所とグループホームは給付費の基本報酬が減額されたが、人員配置体制加算をとることにより増収となった、かがやけ第２共同作業所は基本報酬の増額と利用者増、工賃達成加算取得により増収となり、法人全体の収入としても増収となった。支出については、職員の採用が進まず、人件費減となった。

今年度、将来のために、施設整備費等積立金 19,610,000 円、人件費積立

金 9,950,000 円を積み立てた。

２０２４年度決算では福祉充実残額が生じたため、社会福祉充実計画を作成する。

(5) 危機管理体制・災害対策・感染症対策

ア　防災対策

事業継続計画（BCP）を作成し、その内容を職員に周知するとともに、研修と訓練を行なった。

イ　新型コロナ感染症対策

・新型コロナ感染症が５類になったが、日常的な感染対策はいままで通り、様々な対策を講じてきた。通り行ってきた。

・法人として、新型コロナウイルス感染症対応手当についても経過措置として続行してきた。

・かがやけ共同作業所では、１０月に利用者や職員の感染者が増え、施設の閉鎖はしなかったもののクラスターとなった。グループホームでは全ホームに陽性者が発生し、ホーム待機を行う等、予断を許さない状況が発生した。ホームでは、感染した利用者１名が重症となり入院した。その他の利用者はいずれも軽症ですみ、元気に復帰できている。

・行事については、少しずつコロナ感染症の発生状態をみながら実行してきた。旅行やバーベキュー等、感染対策を十分に行いながらも行うことができ、利用者も楽しい日々をすごすことができた。

・新型コロナ発生状況（感染者延べ人数）

４月	かがやけ共同作業所	利用者１名	
	グループホーム	利用者１名	職員１名
６月	かがやけ共同作業所	利用者１名	
	かがやけ第２共同作業所	利用者２名	職員１名
	グループホーム	利用者３名	
７月	かがやけ共同作業所	利用者２名	職員１名
	かがやけ共同作業所	利用者２名	職員１名
	グループホーム	利用者１名	
１０月	かがやけ共同作業所	利用者１１名	職員５名
	かがやけ第２共同作業所	利用者１名	
	グループホーム	利用者６名	職員２名
３月	かがやけ第２共同作業所	利用者２名	職員１名

合　計　　利用者３３名　職員１２名

(6) 虐待防止対策の推進と強化

・虐待防止委員会を年２回（５月・１月）開催した。

・各事業所職員で動画視聴とチェックリストを使用した研修を実施した。東京都障害者虐待防止・権利擁護研修に職員を派遣し伝達研修を行い、支援の質の向上をめざした。

・身体拘束の適正化を図るための対策を検討する委員会を事業所ごとに開催し、支援の質の向上をめざした。

(7) 内部監査の充実

法人内での内部監査（５月、１１月）を実施するとともに、監事監査（５月・１１月）に実施し、業務内容を見直す機会を設け、理事会に報告した。

(8) 職員の働きやすい職場づくり

・送迎業務のあるかがやけ共同作業所において、新たに送迎業務に携わる職員に対して、自動車学校の「安全運転講習」に派遣した。

・メンタルヘルス研修を管理職研修として行い、不安や悩みを抱える職員に対し、気軽に相談できるように体制を整えてきた。
引き続き、職員が安心して働き続ける職場めざし、職場の労働環境改善のための課題整理、課題解決のための方策を話し合う場を設ける。

・労働条件改善について次のことを行ってきた。
処遇改善加算及び処遇改善特例交付金による賃金改善
東京都居住支援特別手当事業による賃金改善

・引き続き、若手職員の給与改善（基本給２２万円未満の職員を対象に特別昇給）を実施した。

・新型コロナイルス感染症対応手当規程により、感染の疑いのある者への支援、陽性者の支援、濃厚接触者への支援をした職員に対し手当を支給した。

延べ７５名　1,026,000 円

内訳	かがやけ共同作業所	延べ９名	54,000 円
	グループホーム	延べ６６名	972,000 円

(9) 運営協議会、合同保護者会の充実

・運営協議会は、第１回７月５日、第２回１月１９日に開催し、法人報

告及び各委員からの報告をおこなった。
・合同保護者会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、開催しなかった。

(10) かがやけ福祉会後援会との連携
・担当理事をきめ、後援会事務局会議に参加することで、連携を図ってきた。

２．事業と実践の展開

(1) グループホームのユニット増　新設計画
・検討はできなかった。

(2) 修繕計画
・かがやけ共同作業所の外壁工事の検討はできなかった。

(3) 今後の新規事業の検討
・短期入所の開設、日中支援型グループホームの検討はできなかった。

３．人財の育成

(1) 人財確保
・民間求人サイトによる職員募集に力を入れてきた結果、３名の経験者を採用した。

採用（常用職員）
４月　かがやけ共同作業所　生活支援員　２名（非常勤職員から登用）
７月　かがやけ第２共同作業所　職業指導員　１名
１１月　かがやけ第２共同作業所　職業指導員　１名
１月　グループホーム　世話人　１名

退職
１２月　グループホーム　世話人　１名
２月　グループホーム　世話人　１名

(2)　人財育成

かがやけ福祉会の歴史、理念の継承のため、管理者の育成や次世代の人財育成に力を入れ、目的意識的な人財育成を進めてきた。

ア　職員ハンドブックの作成

職員ハンドブックを作成した。今後職員採用時や理念会議等で活用していく。

イ　管理職職員の研修の確立をしていきます。

管理職として求められる管理業務能力や実践推進の力量をつけるため、テーマを決め研修をおこなってきた。

２月から３月　「管理者のメンタルヘルスケア」
サポーターズカレッジ視聴とレポート提出

ウ　資格取得支援規定を活用し、資格取得を促します。

・社会福祉士取得報奨金　　１名
・社会福祉士受験費用助成　１名

エ　研修システムに基づき、内容の充実を図り、職員の資質向上に努めます。

①　新人研修

・法人研修担当者会主催の新規職員研修を実施した。
・サポーターズカレッジを活用した新人研修の開催を実施した
・東京都社会福祉協議会主催の階層別研修を受講した。

②実践充実のための研修

・新人職員研修（法人内）　　１１月５日、６日
・外部講師による法人全体研修の実施　１月１７日
「意思決定支援が目指すもの」　講師：水島俊彦氏

③実践報告会の実施　　３月１３日

・職員のレポート発表による実践報告
「フュチュール開設からの経過報告」
グループホームフュチュールの報告
・２０２４年度就労支援事業報告
「かがやけ第２共同作業所の報告」

④ 外部研修への派遣（各事業所報告参照）

・階層別研修への研修派遣

・専門研修への研修派遣

４．地域への取り組み

(1) 広報活動の充実

ア　ホームページの充実

ホームページの更新は適時行ったが、内容の充実にはいたらなかった。

イ　かがやけニュースの紙面の充実

かがやけニュースを、５月・７月・９月・１１月・１月の５回発行し、行事や作業の様子などを紹介した。

(2) 地域における公益的な取り組み

きょうされん映画「夜明け前」の上映会をする予定であったが、年度内には取り組むことができず次年度に実施することとした。

(3) 地域との諸団体との連携

法人主催の地域に向けた学習会の開催や防災についての情報交換や連携などは、取り組むことができなかった。

２０２４度　かがやけ共同作業所事業報告

今年度は当初利用者数５１名、入所者は４月１日盲学校卒業生が１名、年度途中に他事業所から１名。退所者は転居１名、他事業所へ異動１名で、年度末利用者数は５０名、年間平均利用率は８５％（昨年度８６％）であった。

生産活動（作業）は、受注作業では学習教材のセットを主体に、情報誌のポスティング、チラシ折り作業に取り組んだ。公園・児童遊園の清掃作業と資源回収の屋外作業については利用者の高齢化や熱中症予防のため、夏季の利用者参加を制限したため、職員の作業負担が増している。自主製品はクッキー・羊毛フェルト製品・花たわし・ビーズ製品等を制作し、他団体のイベント等の外部販売にも出店した。「秋のなかままつり」の収益も合わせ就労支援事業収入4,811,949 円（昨年度 4,979,988 円）、平均工賃は月額 5,767 円（昨年度 6,710 円）を支給した。

昨年度から再開した各班の「バス旅行」は今年度も日帰りで実施した。「夏のレクリエーションとして「パリオリンピック」にちなんで「かがやけオリンピック」と称して、各班対抗のスポーツ大会を開催した。「秋のなかままつり」には多く地域の方とボランティアの方に来場いただき、事業所に対する理解を深めていただくことができた。各班の毎月の取組みでは、レクリエーションとともに少人数による「個別外出」を行い、買い物や外食を楽しんでいただいた。

健康管理では、１０月に新型コロナウィルス感染症のクラスターが発生し、利用者１１名、職員５名が感染した、利用者１名が肺炎を併発し長期入院した（2025 年 4 月退院）。利用者健診時にオプション検査を推奨し受診した結果、大腸がん発症のリスクの高い方やピロリ菌抗体陽性の方が判明した。機能維持やリハビリについては理学療法士の指導も受けながら必要な方のプログラムを作成し取り組んだ。

法人内相談支援センターと連携し、グループホームの体験入居や短期入所の利用について区障害福祉課担当者も交えた支援者会議を行い、情報の共有化や円滑な利用について支援した。個別支援計画作成のあたり、相談支援専門員と面談日程を調整し、利用者の状況やニーズの共有し、計画の充実を図った。

事故は利用者の転倒３件（通院なし）、服薬事故２件（服薬忘れ１件、服薬重複１件）、擦過傷１件。車両事故が２件（修理なし）発生した、その都度職員会議で報告し改善策を検討実施した。職員の労災事故が６件（うち骨折１件、休業１件）発生した。車両の安全運行のためアルコール検知器による検査、乗車名簿確認と置き去り防止装置による乗降チェックを徹底した。修繕では屋上のオイルタンクが経年劣化による油漏れが発生したため、屋上配管とともに交換

工事を行った。自然災害発生時と新型コロナウィルス感染症発生時の事業継続計画（BCP）に基づき研修・訓練を実施した。実習生は専門学校４名、特別支援学校１名、他事業所から１名を受入れた。第三者評価は受審なし。

Ⅰ　利用者状況　　（２０２５年3月３１日現在）

１.事業種別　定員

・事業種別　生活介護事業
・定員　　５５名

２．各月利用者数

（単位：人・％）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
前月末	５０	５１	５１	５１	５０	４９
当月初	５１	５１	５１	５１	５０	４９
当月末	５１	５１	５１	５０	４９	４９
入所者	1	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	1	1	0
利用率(%)	８５	８６	８８	８５	８５	８５
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
前月末	４９	４９	５０	５０	５０	５０
当月初	４９	４９	５０	５０	５０	５０
当月末	４９	５０	５０	５０	５０	５０
入所者	0	1	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0
利用率(%)	８０	８１	８３	８４	８６	８６

・入所者　４月１日　　文京盲学校卒業生１名入所
　　１１月１１日　就労継続新B型事業所から異動１名入所
・退所者　７月２６日　　転居のため１名退所
　　８月３１日　　就労継続新B型事業所へ異動１名退所
・年間平均利用率　８５％

３．男女別　　男性２８名　　女性２２名

４．居住地別　　葛飾区　５０名（居住地特例適用者白井市１名含む）

５．年齢別

	１０代	２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代	平均年齢
男	0	6	5	6	6	4	1	４６歳
女	1	1	4	3	１１	0	2	４７歳
計	1	7	9	9	１７	4	3	４６歳
%	2	１４	１８	１８	３４	8	6	

６．障害支援区分別

区分	人数
6	２０
5	１４
4	１３
3	3
2	0
1	0
未判定	0
合　計	５０

※平均区分５

７．通所方法　　送迎利用者　　４２名（全７コース）
　　家族送迎者　　２名
　　自主通所者　　６名

Ⅱ　職員状況

１．職員配置

１）管理者　　１名（常勤１名）
２）サービス管理責任者　１名（常勤１名）
３）生活支援員　　２０名（常勤１４名、非常勤６名）
４）看護職員　　２名（非常勤２名）
５）栄養士　　１名（常勤１名）
６）調理員　　４名（非常勤４名）
７）事務員　　１名（常勤１名）
８）運転職員　　０名

※兼務表記省略　２０２５年３月３１日現在

２.職員数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
常勤	１８	１８	１８	１８	１８	１８
非常勤	8	１０	１０	１１	１２	１２
計	２６	２８	２８	２９	３０	３０
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
常勤	１８	１８	１８	１８	１８	１８
非常勤	１２	１２	１２	１２	１２	１２
計	３０	３０	３０	３０	３０	３０

各月当初人数

２０２４年度　かがやけ第２共同作業所事業報告

今年度は新入所者3名、退所者は2名、最大56名の利用者が在籍。平均年齢40.8歳、年間平均利用率84.8％とほぼ昨年度に同じ。新型コロナウィルス感染症の感染者は利用者7名、職員3名で全員軽症であった。

お菓子班では、Instagramを利用した情報発信(フォロワー数194)、加盟する「かつしか元気食堂」としての区報PR効果もあり、常連のお客様だけでなく、お子様連れや若い世代の客層が増えた。外国人客も時折足を運び、昼時の賑わいが絶えない。販売する商品の製造日を固定化しお客様にも周知した。

調理班では、当日注文1日平均30食前後、喫茶店ではイートインとテイクアウト合計で1日平均14食、多い時には20食を超えた。春夏冬の長期休み期間には学童保育クラブより1日100食以上、学童数は昨年に同じ10か所から、多くの注文をいただいた。企画弁当は7月「七夕天ぷら弁当」、12月「クリスマスチキン」、1月「新年会弁当」、2月「恵方巻」、3月「ちらし寿司」。新年会弁当のメニューは利用者が複数の料理雑誌を参考に意見を出し合って今年度も決めた。

受注班では、34名を3部屋に分け東栄社、精和産業、北星鉛筆、東京金属工業(クリップ)、吉田京商事(椎茸)、葛飾区共同受注と複数の窓口から様々な作業に取り組むことができた。公園清掃、トイレ清掃では水分補給、ファンベスト着用、塩分補給など熱中症対策として利用者にも定着。今年度平均工賃月額は23,718円(前年度23,202円)今年度就労支援事業収入 24,626,960円(前年度24,100,421円)。

就労支援では、区役所実習0名、所内実習23名(2回実施)への実習準備、実習場所や作業の確保、当日の支援と振り返りに取り組んだ。にいじゅくまつりのボランティアとして一般就労者数名参加、近況などを把握した。

クラブ活動として創作クラブ、マラソンクラブを実施。昼休みには、階段昇降と放送委員会を今年度も取り組んだ。また5月就労、9月グループホーム、12月署名、2月健康について学習会を企画した。にいじゅくまつりを秋開催とし、旅行は久しぶりのホテル泊とともに川越散策、大宮鉄道博物館などを楽しんだ。

身体の拘束を伴う支援後の報告書作成、本人ご家族への提出、身体拘束適正化委員会を開催し拘束時の3要件と適正化の検討、職員会議では検討内容を職員全員に報告した。災害感染対策として避難訓練は3回(内引渡し

訓練1回、BCP対応訓練1回)実施。感染症BCP対応の研修と訓練各1回実施。事故発生件数、車両事故1件、職員労災事故1件、賞味期限切れ商品の販売1件、火災通報装置の誤通報他2件。修繕・購入について、エアコン修理2件、シンクロヒータ1件、調理室厨房関係6件、パソコン及びサーバーの購入を実施、また積立取崩しによる菓子製造用オーブン、どら焼き機を購入した。

実習の受入は、特別支援学校生3名、中学生職場体験2名、保育実習4名、介護実習2名、介護等体験16名を受入れた。

給食では健康診断結果をもとにご飯の減食やカット対応。管理栄養士による助言相談を個別支援計画の面談時に実施、毎月1回セレクトメニューを行ない利用者の好評を得た。その他保護者会は今年度6回開催。第三者評価は受審無し。

Ⅰ．利用者状況　　(2025年3月末現在)

１．事業種別　定員

・事業種別　就労継続支援Ｂ型　・定員　６０名

２．各月利用者数

（単位：人・％）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前月末	５３	５５	５５	５５	５５	５５
当月初	５５	５５	５５	５５	５５	５６
当月末	５５	５５	５５	５５	５５	５６
新入所者	2	0	0	0	0	1
退所者	0	0	0	0	0	0
利用率	84.4	84.9	85.4	86.4	82.5	86.7
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月末	５６	５６	５５	５５	５５	５４
当月初	５６	５６	５５	５５	５５	５４
当月末	５６	５５	５５	５５	５４	５４
新入所者	0	0	0	0	0	0
退所者	0	1	0	0	1	0
利用率	84.5	84.9	84.5	85.8	83.3	84.3

年間平均利用率　84.8%

・入所者　4月　葛飾特別支援学校から1名入所

小合学園から1名入所
9月　かがやけ共同作業所から1名入所
・退所者　11月　かがやけ共同作業所へ異動のため1名退所
2月　他サービス異動のため1名退所

３．男女別　　男性３８名　　女性１６名

４．居住地別　　葛飾区５３名　　江戸川区　１名

５．年齢別

	１０代	２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代	合計	平均年齢
男	0	5	１２	１３	4	3	1	３８名	40.7歳
女	1	3	7	4	0	0	1	１６名	41.0歳
計	1	8	１９	１７	4	3	2	５４名	40.8歳
%	1.9	14.7	35.2	31.5	7.4	5.6	3.7	100.0	

６．障害支援区分別

区分	人数
6	0
5	2
4	11
3	15
2	1
1	0
未判定	25
合計	54

７．通所方法　　自主通所　５４名

Ⅱ．　職員状況　2025年3月末現在

１．職員配置

１）管理者　　１名（常勤１名）
２）サービス管理責任者　１名（常勤１名管理者兼務）
３）生活支援員　　１名（常勤１名）
４）職業指導員　　１２名（常勤９名・非常勤３名）

５）目標工賃達成指導員　１名（常勤１名）
５）就労支援員　　１名（常勤１名職業指導員兼務）
６）栄養士　　１名（常勤１名）
７）調理員　　１名（非常勤１名）
８）事務　　１名（常勤１名）

２．職員数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
正規	12	12	11	12	12	12
期間契約	9	9	9	9	9	9
計	21	21	20	21	21	21
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
正規	12	12	12	11	11	11
期間契約	8	8	8	8	8	7
計	20	20	20	19	19	18

各月当初人員

２０２４年度　グループホーム事業報告

２０２４年度、グループホームの利用者は、３月３１日現在３３名である。

そのうち、２名が病気治療、長期入院等で、ホーム不在が続いた。２０２４年度において、エタンセール入居者の保護者が亡くなり、区長申し立てによる後見人申請を手続き中である。今後、ホーム入居者が安心して生活していくために、成年後見人制度等の活用をどう進めていくかが大きな課題となっている。

新型コロナウィルス感染は一定の落ち着きをみせたが、１０月に通所先がクラスターとなり、その中グループホームにおいて、感染が広がり、１名がコロナ肺炎で重症となった。

ホーム全体の利用者が高齢化し、機能低下、認知障害、精神的な落ち込み、意欲低下等がある。健康診断のオプションで、血液検査の結果、ガン等のリスクが高いメンバーが数人おり､再検査やピロリ菌除去の薬を服用するなどしてきた。健康で充実した暮らしをしていくために、日々の健康管理、日常の食事、睡眠等にいっそう気を付けながら支援していく必要がある。様々な症状に対応していくため、通院支援も増加してきたため、訪問診療の導入も行ない、病気等の迅速な対応、職員の負担も軽減できるようにしてきた。

余暇活動は昨年同様、個別外出、バーベキューやバスハイクに取り組み、充実した生活へとつなげることができた。

事業継続計画（BCP）の研修において、葛飾区の出前講座を活用し、危機管理課の方を招き、葛飾区のハザードマップを使い、災害時の被害想定、避難所の確認、備えについて学習を行なった。

事故については、服薬忘れ２件、服薬ミス（誤薬）３件、転倒２件、ベッドからの落下１件、舌の切傷１件、車両自損事故１件、労災事故２件が発生した。

第１章　利用者状況　　２０２５年３月３１日現在

１　定員と現員　　（単位：人）

ケアホーム	ユニット	開設年月日	定員	現　員		
				男性	女性	合計
かがやけ寮	ブリエ	H11. 12. 1	5	4	1	5
	リベルテ	H24. 4. 1	4	3	1	4
	ラヴァンス	H29. 6. 1	4	2	2	4
エタンセール	エタンセール	H14. 3. 1	7	4	3	7
	アルクアンシェル	H18. 5. 1	6	4	2	6
	フュチュール	R3. 5. 1	7	4	3	7
合計			３３	２１	１２	３３

２　利用者の状況（年齢の状況）　　（単位：人）

ユニット	２０代	３０代	４０代	５０代	６０代以上	合計
ブリエ		1	1		3	5
リベルテ			1	1	2	4
ラヴァンス		1		3		4
エタンセール			2	4	1	7
アルクアンシェル		1	3	2		6
フュチュール		1	2	4		7
合　　計		4	9	１６	3	３３

３　利用者の状況（障害者支援区分の状況）　　（単位：人）

ユニット	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
ブリエ			2	2	1		5
リベルテ				2	2		4
ラヴァンス			1	2	1		4
エタンセール				1	1	5	7
アルクアンシェル				1	3	2	6
フュチュール					3	4	7
合　計			3	8	１１	１１	３３

第２章　職員状況　　職員配置（２０２５年３月３１日現在）

エタンセール

（１）管理者	１名（常勤兼務）
（２）サービス管理責任者	１名（常勤）
（３）世話人	１１名（常勤）
（４）生活支援員	２１名（常勤６、非常勤１５）
（５）事務	３名（常勤１、非常勤２）
（６）看護師	１名（非常勤）

かがやけ寮

（１）管理者	１名（常勤兼務）
（２）サービス管理責任者	１名（常勤）
（３）世話人	４名（常勤４）
（４）生活支援員	１６名（常勤1、非常勤１５）

２０２４年度相談支援センターかがやけ事業報告

２０２４年度は、かがやけ福祉会が運営している事業所の利用者及び地域において障害福祉サービス事業を利用している方へのサービス等利用計画の策定を行ってきた。サービス等利用計画は、１５７件（内法人外６３件）、モニタリング報告は、２９７件（内法人外１３３件）を進めてきた。

定期の利用計画の更新やモニタリング報告の他、家族の病気や介護力低下などによって、本人に新たなニーズが生じた場合には、必要に応じて計画案の内容変更（家事援助、短期入所、GH入居等）を行ってきた。

報酬改定の影響で、介護事業所の再編や撤退、ヘルパー不足があり、利用の際に影響があった。

相談支援専門員としての専門知識の習得や支援技術向上のため、今年度も研修に参加をしてきた。

◎事業種別

指定特定相談支援事業

第１章　利用者状況

1　各月サービス等利用計画・モニタリング策定数（　）法人外在宅者等・内数

	サービス等利用計画	モニタリング	小計（件）		サービス等利用計画	モニタリング	小計（件）
4月	9(3)	30(13)	39(16)	10月	15(4)	23(13)	38(17)
5月	14(6)	24(13)	38(19)	11月	10(4)	26(12)	36(16)
6月	20(4)	20(10)	40(14)	12月	8(2)	30(12)	38(14)
7月	8(3)	22(12)	30(15)	1月	10(8)	19(7)	29(15)
8月	15(6)	26(13)	41(19)	2月	16(8)	25(10)	41(18)
9月	16(5)	25(9)	41(14)	3月	16(10)	27(9)	43(19)
小計	82(27)	147(70)	229(97)	小計	75(36)	150(63)	225(99)
				合計	157(63)	297(133)	454(196)

第２章　職員状況

１　職員配置

１）管理者　　１名（相談支援専門員兼務）

２）相談支援専門員　　１名

第３章　相談支援事業に関わる取り組み

１　サービス等利用計画策定者の障害福祉サービス事業等の利用状況（単位：人）・（　）外数

項目	かがやけ共同作業所	かがやけ第２共同作業所	ＧＨ（かがやけ）	かがやけから他施設異動	法人外在宅等	計
人員	４８（１）	５２（１）	２（１）	１	７１	１７４（他相談支援３）
他利用なし	１	２１				２２
居宅介護（身体介護・家事援助等）	９（１）	３		１	１７	３０（１）
ＧＨ（かがやけ）	２６	４	２（１）			３２（１）
他ＧＨ	２	５（１）			１８	２５（１）
移動支援	４０（１）	３０	２（１）		１０	８２（２）
移動支援加算	６					６
通院介助	５	５	１		５	１６
同行援護					４	４
就労継続Ａ					４	４
就労継続Ｂ		５２（１）	１		１８	７１（１）
就労移行					６	６
生活介護	４８（１）		１（１）	１	６	５６（２）
施設入所支援	１				２	３
一般就労					１６	１６
重度訪問介護					１	１
短期入所	１１（１）	２４			１９	５４（１）

自立訓練					1	1
精神医療デイサービス					1	1
介護デイサービス	1					1
療養介護					1	1
短期入所生活介護（介護保険）		1				1
就労定着支援					4	4

２　研修報告

・かねっと相談支援専門員研修会

・７/２４（水）かつしかシンフォニーヒルズ

３　相談支援専門員現任研修

・６/４（火）（オンライン）

・７/２２（月）実習（きね川福祉作業所）

・８/１（木）・８/２（金）